

野菜産地における産地継承の取り組み

県央農林総合事務所

石川県金沢市打木(うつぎ)町は日本海沿岸部に広がる砂丘地帯に位置し、施設栽培のきゅうりやトマト、露地栽培のすいかやだいこんなど、野菜専業の生産者が多く、また、加賀太きゅうりや源助だいこんなどの伝統野菜「加賀野菜」を守り育む県下有数の歴史ある野菜産地です。

近年、生産者の高齢化が進み、離農や規模縮小により遊休農地が増えてきました。

これまでは、産地内の担い手が遊休農地を借り受けしてきましたが、担い手も規模の拡大が限界となり、空き農地や施設が目立つようになってきました。

生産者から産地存続の相談を受け、当事務所では、①地域住民も巻き込んで産地の将来を考える場の設定、②産地外から新規就農者を受け入れることへの合意形成、③新規就農者を産地で受け入れて育成するための産地継承法人の設立・提案、などの支援を行いました。

その結果、①地域全体で産地の将来を考え、遊休農地の貸し借りの調整や保全管理などの機能を担う組織の設立、②集約した遊休農地を活用し、新規就農者を受け入れて、将来の担い手を育成する機能を担う産地継承法人の設立など、管内で初めての園芸産地の継承モデルを構築することができました。

産地継承法人として、生産者有志13名の出資により「株式会社金沢アグリプライド」が令和2年2月に設立され、会社創立に合わせて30代男性1名を雇用し、加賀太きゅうりなどの生産を行っています。

令和2年度は目標売上を達成することができましたが、産地を維持・発展させるためには、更なる新規就農者の受け入れと育成が必要です。

当事務所では、今後も産地継承法人の運営を支援するとともに、管内で担い手不足や遊休農地の問題を抱えている多くの園芸産地においても、産地の特性に応じながら産地継承への課題解決に取り組んでいきたいと考えています。



(株)金沢アグリプライド創立記念集合写真
(出資者13名と従業員(左端1名))



加賀太きゅうりを収穫する従業員

問い合わせ先：農業振興部（076-239-1751）